

## 「故障かな?」と思ったら(不調診断)

〈現象〉・大きくガタガタしている。

点検する箇所	処置のしかた
全体に大きく曲がりやねじれがありませんか。	ある場合は、使わないで廃棄してください。
支柱や踏ざんに、曲がりやへこみなどの変形はありませんか。	ある場合は、使わないで廃棄してください。

〈現象〉・折りたたんだとき、合わされる脚に大きなズレがある。

点検する箇所	処置のしかた
ヒンジ(回転金具)に変形がありませんか。	ある場合は、使わないで廃棄してください。
ヒンジ(回転金具)を止めているリベットが、ゆるんだり外れたりしていませんか。	ゆるんだり外れたりしている場合は、使わないで廃棄してください。



**警告** 製品に異常があった場合、自分の判断で、手直しや補修は絶対にしないでください。一層変形した本体や金具は、いちじるしく強度が落ちており、手直ししても本体や金具の破損が起こり、転倒や転落による人身事故の原因になります。

## アルインコ 株式会社

〒569-8510 大阪府高槻市三島江1-1-1

お客様相談室 ☎ 0120-302-668

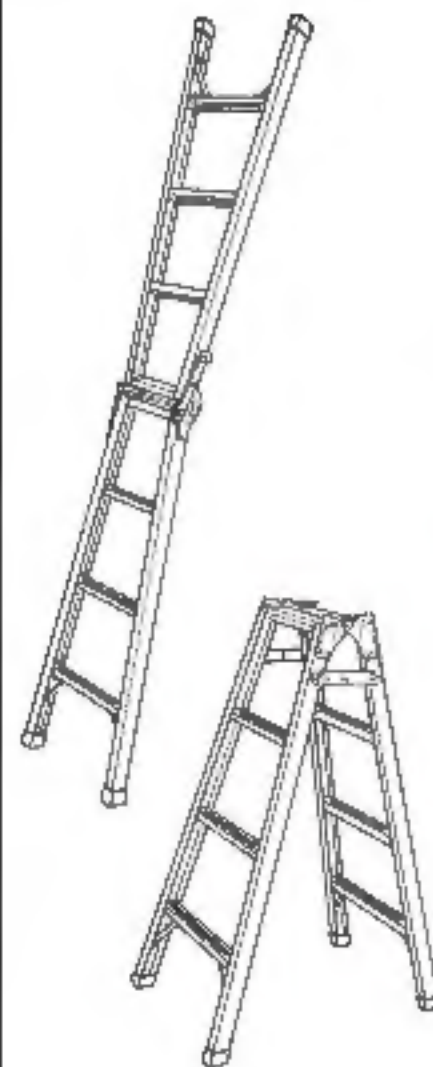
AM10:00~PM4:00 ただしPM12:00~PM1:00及び土・日・祝を除く

※この取扱説明書は、株式会社アルインコが企画・発行したものです。無断転用を禁じます。

2017/01-01

## はしご兼用脚立

## 取扱説明書



このたびは本製品を、お買い上げいただきましてありがとうございます。

この取扱説明書は、本製品の使いかたと使用上の注意事項について記載しています。

ご使用前には必ず、この取扱説明書をよくお読みいただき、事故が起こらないよう、内務にしたがって正しくお使いください。

また、お読みになった後も、この取扱説明書をすぐに取り出せる所へ大切に保存してください。



- はしご兼用脚立は、正しく使われていないと転倒や転落の危険があります。お使いになるときは、はしご兼用脚立の安定した状態を確認してください。
- はしご兼用脚立は、昇降面の左右方向に転倒しやすいので、十分注意してお使いください。
- はしご状態で使うときは、大人の補助者がしっかり支えて、転倒や転落しないように、十分注意してお使いください。
- この取扱説明書に書かれた使いかた以外の使用方法や注意事項を守らずに、事故を起こされても責任を食いかねますのでご了承ください。

## もくじ

表示マークについて	2
各部のなまえ	3
安全のために、必ず守っていただきたいこと	5
ご使用前の点検	15
設置場所について	17
脚立状態での使いかた	18
1.脚立にするとときとたたみかた	18
2.脚立の昇りかた・降りかた・作業のしかた	19
はしご状態での使いかた	20
1.はしごにするとときとたたみかた	20
2.はしごの起こしかた・倒しかた	22
3.はしごの立て掛けかた	23
4.はしごの昇りかた・降りかた	24
使用後のお手入れと保管のしかた	25
1.お手入れのしかた	25
2.保管のしかた	25
「故障かな？」と思ったら（不調診断）	26

## 表示マークについて

取扱説明書や製品のラベルに記載されている△マーク付きの説明は、安全上、特に重要な項目ですから、必ずお守りください。

### ⚠ 危険

記載されている内容を守らなければ、死亡や重大な事故が生じる危険が極めて大きいことを示します。

### ⚠ 警告

記載されている内容を守らなければ、死亡や傷害事故が生じる危険があることを示します。

### ⚠ 注意

記載されている内容を守らなければ、けがや製品が故障する恐れがあることを示します。  
※故障したままで使用しますと、転倒や転落による傷害事故の原因になります。



禁止

このマークは、禁止（してはいけないこと）を示します。



強制

このマークは、強制（必ずすること）を示します。

### <絵表示について>

警告表示の要点が一目で理解できるように、警告ラベルの中で絵表示を使用しています。絵表示には下記の意味があります。



#### 感電注意

持ち運びや移動・設置時に、配電線に触れると感電して危険であることを示します。



#### 可動部や回転部で手をはさまないよう注意

脚立を開閉するときに、可動部や回転部などで手をはさむ恐れがあることを示します。



#### この面は裏面です 使用禁止

裏面を使うと開き止め金具が破損して、転落の危険があることを示します。



#### 天板の上に ぬることを禁止 または ぶつかることを禁止

バランスをくずして、転倒や転落の危険があることを示します。



#### 開き止め金具の ロック忘れに注意

開き止め金具のロックを忘れて使うと脚が開閉し、転倒や転落の恐れがあることを示します。



#### ここにのることを禁止

バランスをくずして、転倒や転落の危険があることを示します。



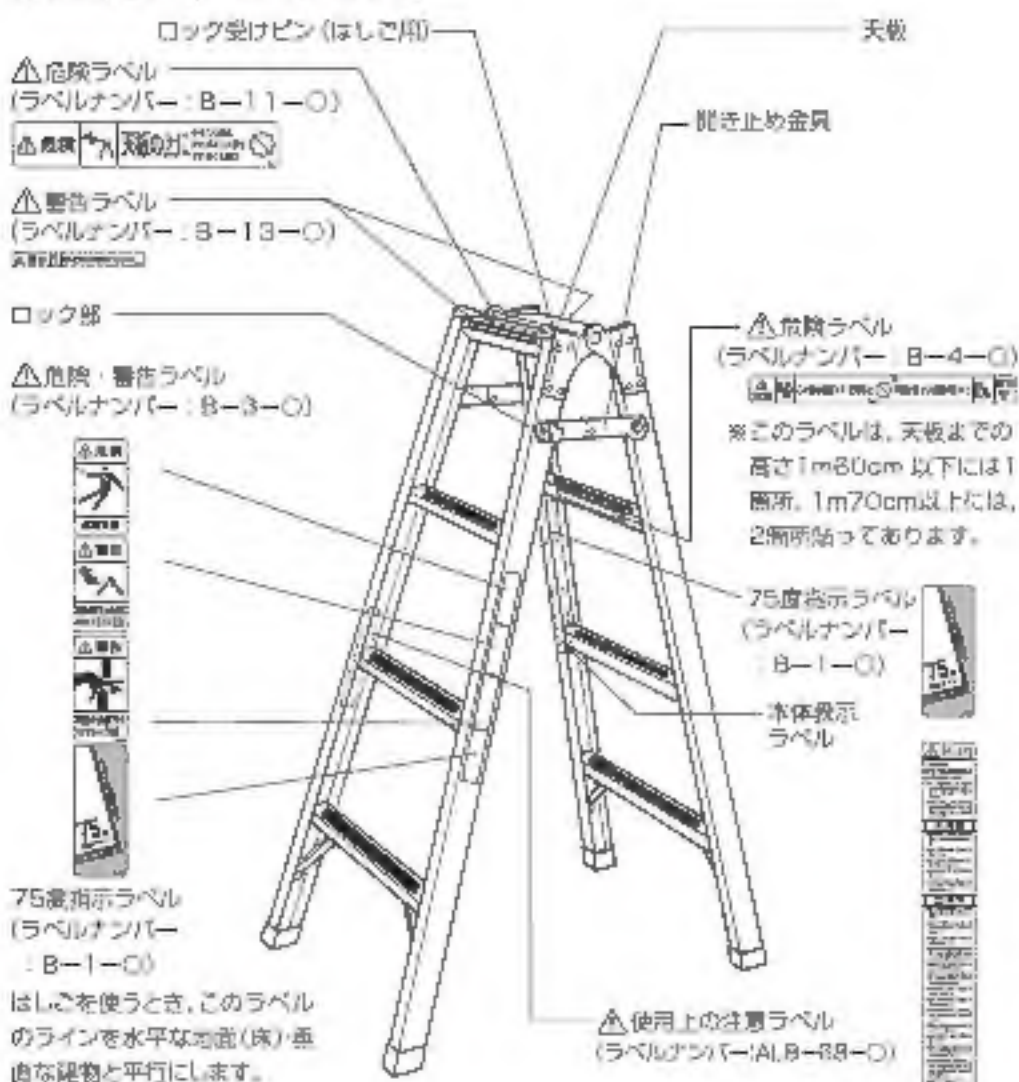
#### 左右方向転倒に注意

バランスをくずして、転倒や転落の恐れがあることを示します。

## 各部のなまえ

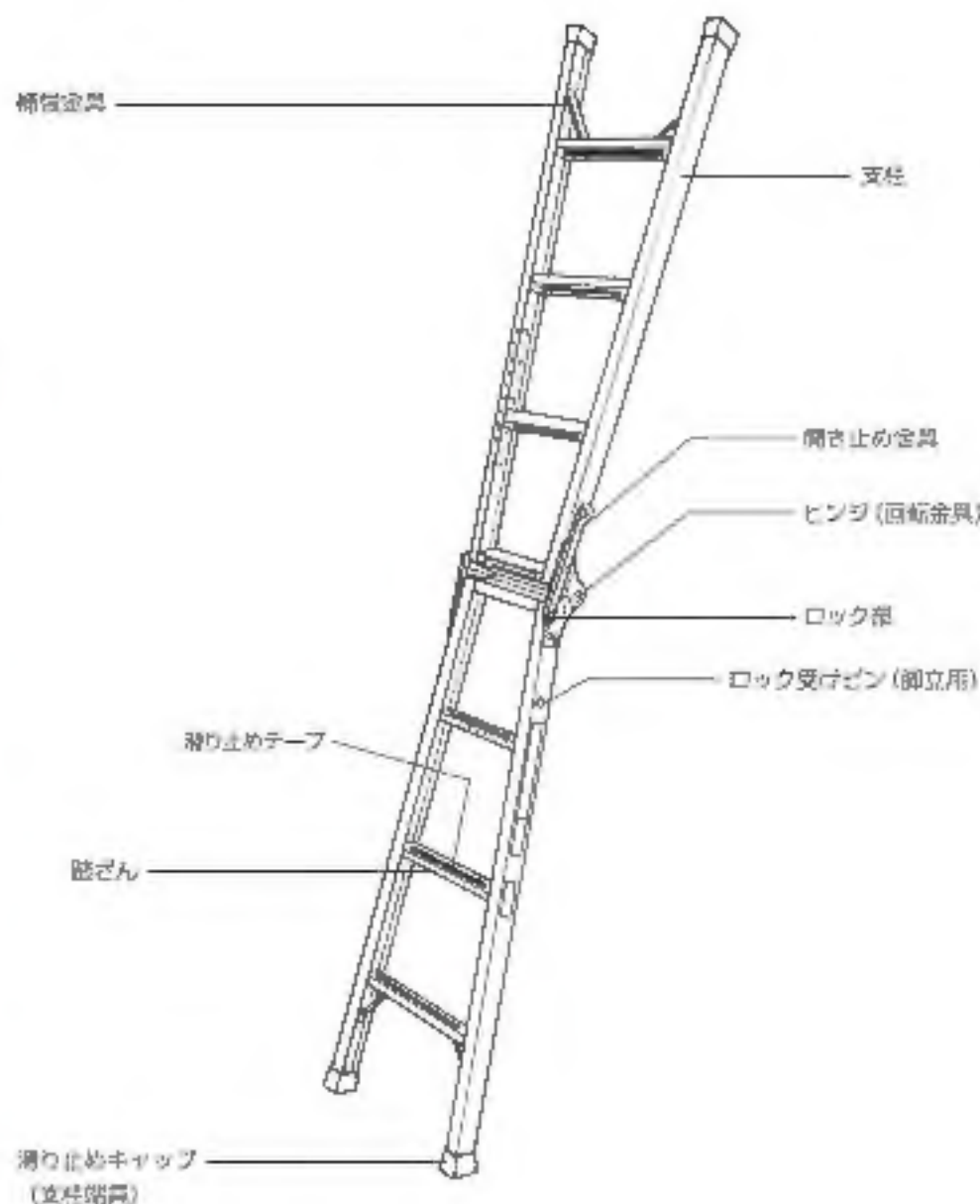
### 〈脚立の状態〉

この図は、標準タイプを説明しています。



- ※1. ラベルを取り寄せるときは、ラベルナンバーをご確認ください。
- 2. ラベルナンバーは、ラベルの右下に記載されています。
- 3. ラベルナンバーのOは、改訂ナンバーです。

### 〈はしごの状態〉



## 安全のために、必ず守っていただきたいこと

ここに記載されている注意事項を守らないと、死亡や重大な事故、製品の破損が生じる恐れがあります。

### 1. 使用条件について

**△警告** はしご兼用脚立としての用途以外の使いかたをしないでください。

はしご兼用脚立は、高い所で作業するときの足場として作られた「脚立」の用途と、壁物などに立て掛けて高い所に昇り降りする「はしご」の用途があります。「はしご」として使うときは、作業をしないでください。使いかたを誤ったり、用途以外の使いかたをしますと、転倒や転落による重大な事故の恐れがあります。

**△警告** はしごで使うときは、必ず大人の補助者がはしごを支えてください。

補助者がはしごを支えないと、はしごが動きます。そのときバランスをくずして、転倒や転落の恐れがあります。また使用中は、はしごを支える補助者以外の方は近づけないでください。



**△警告** この製品は、本体表示ラベルでの最大使用質量の範囲内で使用してください。

体重と荷物の合計質量が、最大使用質量を超えると、使用しないでください。また、荷物はバランスが保てる程度の大きさや適さしめてください。

**△警告** はしご兼用脚立を加工や改造しないでください。

重大な事故を起こす恐れがあります。

**△警告** お子様や取扱説明書・警告ラベルの内容が理解できない人には、使わせないでください。

この製品の取扱説明書や警告ラベルには、安全に使用する上で特に重要なことが書かれていますので、内容が理解できない人が使うと、重大な事故につながる恐れがあります。



**△注意** 使用に適した経路で使ってください。

製品に引っ掛かったり、すそを踏みつける恐れのある服装で使わないでください。

**△注意** お使いになるときは、作業帽（ヘルメットなど）を着用してください。

**△注意** 貼りつけてあるラベルが無くなったり、読めなくなった製品は使わないでください。

必ず、弊社から新しいラベルを取り寄せ、正しい位置に貼り、内容を理解してから使ってください。※ラベルを取り寄せるときは、ラベルのナンバー（3・4ページを参照）をご確認ください。

**△注意** 身体が下記の状態のときは、使わないでください。

- ・ 疲れているとき
  - ・ 飲酒や薬を飲んだとき
  - ・ 病気や怪傷しているとき
  - ・ 身体に異常を感じるとき
- 身体のパランスが保てず、転倒や転落の恐れがあります。



**△注意** この製品を人に貸すときは、取扱説明書も共に貸し出しててください。

取扱説明書には、安全に使用する上で特に重要なことが書かれていますので、よくご説明のうえ使うように指導してください。

### 2. ご使用になる前に

**△警告** 使う前には、必ず「ご使用前の点検（15・16ページを参照）」を行い、異常のないことを確認してください。

異常のあるときは、絶対に使わないでください。重大な事故につながる恐れがあります。



**△警告** 変形したはしご兼用脚立を、使わないでください。

この製品はアルミ製です。曲がったアルミ材は曲げ直すと強度がいちじるしく低下します。したがって、変形した製品を修理して使いますと、容易に折れたり曲がったりして、重大な事故の原因になります。

### 3. 運ぶときは

**△注意** トラックなどにロープで固定するときは、ロープを強く引っ張らないでください。



製品に亀裂が入り、使用中に折れて転落する恐れがあります。



**△注意** 持ち運ぶときは、引きずったり、投げたり、乱暴に扱わないでください。



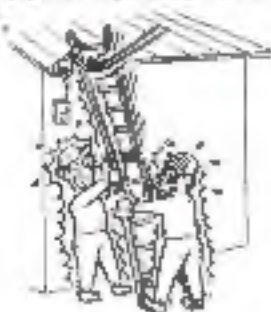
乱暴に扱えば、変形やへこみ・破損の原因になります。

### 4. 設置する場所について

**△危険** 設置するときや持ち運ぶときは、配電線に注意してください。



この製品は電気を通しますので、配電線に触れると感電し、重大な事故につながる危険があります。



**△警告** はしこや脚立が安定しない場所には、設置しないでください。



設置場所が下記の状態では、はしこや脚立が傾いて転倒や転落の恐れがあります。

- ・やわらかい地面や壁で、はしこや脚立が安定しない場所。
- ・段差があったり、凹凸があって安定しない場所。
- ・はしこで使うとき、支柱の片側がジャリ、もう一方がコンクリートなど、左右の硬さが違う場所。
- ・脚立で使うとき、脚立がガタつく場所。
- ・傾斜している地面や床、屋根の上。
- ・積雪している場所。
- ・その他、安定しない場所。

**△警告** はしこや脚立が滑りやすい場所には、設置しないでください。



設置場所が下記の状態では、転倒や転落の恐れがあります。

- ・滑りやすいビニール製の床・タイル・鉄板の上。
- ・濡れている場所。
- ・滑りやすいタイル・ガラスなどの壁。
- ・積雪や凍結している場所。
- ・砂・ごみ・ほこり・落葉などで滑りやすい場所。
- ・その他、滑りやすい場所。



**△警告** 人の出入口やドアの前には設置しないでください。



出入りする人や開けたドアで、はしこや脚立が倒されて転倒や転落の恐れがあります。



**△警告** 雨の中や風の強い場所には、設置しないでください。



濡れた踏ばんで滑ったり、強い風を受けて身体がバランスをくずして、転倒や転落の恐れがあります。

**△警告** 足元や周囲がはっきり見えない暗がりには、設置しないでください。



足を踏み外したり、周囲の危険な物に気が付かないことが原因で、転倒や転落の恐れがあります。

**△注意** 周囲に危険なものがある場所や、観上には設置しないでください。



転倒や転落の恐れがあります。

### △注意

同じ場所に設置されますと、床材等の材質によっては支柱端部の接地部分に色移りする場合がありますので注意してください。

### 5. はしこや脚立にすると

**△警告** 両側の開き止め金具を確実にロックしてください。



開き止め金具のロックが不十分で使うと脚が跳開し、転倒や転落の恐れがあります。



**△警告** 脚立を開閉するときに、可動部や回転部などで、手をはさまないように注意してください。



けがをする恐れがあります。



### 6. 脚立状態で設置するとき

**△警告** 脚立を高くするために、脚立にパイプや木などをつないだり、台や箱の上に乗せたりしないでください。

つなぎ目が折れたり、台や箱が移動して、転倒や転落の恐れがあります。



### 7. はしこ状態で立て掛けるとき

**△危険** はしこの裏面は、絶対に使わないでください。

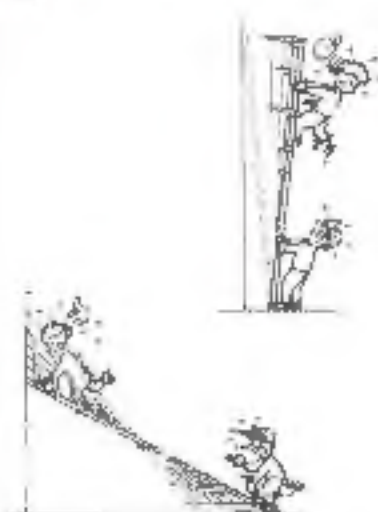
はしこが破損して、転倒や転落の危険があります。



**△危険** はしこの立て掛け角度は、約75度にしてください。



はしこを立てすぎると倒れ、ねかせすぎると滑りますので、転倒や転落の危険があります。



**△警告** 建物の壁に立て掛けた場合は、はしこの上から3段目以上の踏みざんには乗らないでください。

身体が不安定になり、転倒や転落の恐れがあります。



**△警告** 建物の屋根などに立て掛ける場合は、はしこと建物の接点で、最上段と2段目の踏みざんの間が理想的です。

はしこを建物の接点から長く突き出しすぎると、はしこから屋根に移る場合、はしこが動きます。そのときバランスをくずして、転倒や転落の恐れがあります。建物の高さに合ったはしこをお使いください。やむをえず、長く突き出すときは、補助者が特に注意してはしこを寄せ、はしこの上の使用者は接点より上の踏みざんや支柱に体重をかけないでください。



**△警告** はしこを水平にして、使わないでください。



製品が破損して、転倒や転落の恐れがあります。



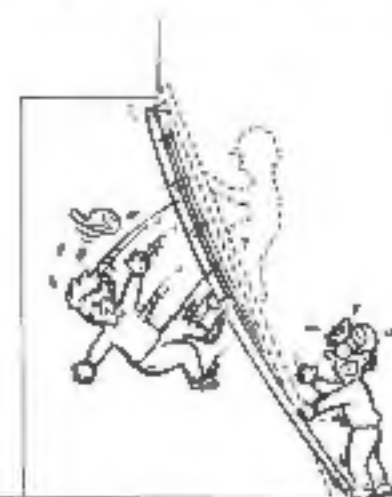
**△警告** はしこを長くするために、別のはしこやパイプ・木などをつないだり、台や箱の上に乗せたりしないでください。

つなぎ目が折れたり、台や箱が移動して、転倒や転落の恐れがあります。



**△警告** 建物のはりや突き出た壁に、はしこの先端を立て掛けて使わないでください。

はしこのしなりや滑りによって、はしこの先端が外れ、転倒や転落の恐れがあります。



**△警告** 脚立を折りたたんだまま、強物に立て掛けたり、水平にして使わないでください。

不安定な使用のため、バランスをくずして、転倒や転落の恐れがあります。



**△警告** 電柱や木など丸いものには、立て掛けないでください。

踏ざんが直接あたると、はしごが不安定になり、バランスをくずして、転倒や転落の恐れがあります。



**8. 脚立状態で昇り降りや作業するとき**

**△危険** 天板の上には、絶対に乗ったり、座ったり、またがったりしないでください。

バランスをくずして、転倒や転落の危険があります。



**△危険** 「ここにのりこと禁止」のラベルが貼ってある踏ざん（19ページ参照）には、乗らないでください。

バランスをくずして、転倒や転落の危険があります。



**△警告** 同時に2人以上乗らないでください。

脚立が不安定になり、転倒や転落の恐れがあります。



**△警告** 脚立を背にしたり、手放して昇り降りしないでください。

身体が不安定になり、転倒や転落の恐れがあります。



**△警告** 脚立の支柱から身体を乗り出さないでください。



身体を乗り出すとバランスをくずして、転倒や転落の恐れがあります。

**△警告** 身体の安定が保たれないような荷物を持って、昇り降りしないでください。



バランスをくずして、転倒や転落の恐れがあります。そのような荷物があるときは、両手に荷物を抱えて、両手両足を使える状態にしてください。



**△警告** 使用中、脚立の上で壁や物を無理に押したり、引いたりしないでください。

無理に押したり、引いたりすると、反動で脚立が不安定になり、転倒や転落の恐れがあります。

**△警告** 二つの脚立の間に板をかけて、足場などに使わないでください。



踏ざんなどが固定したり、脚立が不安定になって転倒や転落の恐れがあります。



**△注意** 脚立は慎重に昇り降りし、脚立の途中から、飛び降りたりしないでください。



傷害事故の恐れがあります。降りるときは、最下段の踏ざんまで使って慎重に降りてください。

9. はしご状態で昇り降りするとき

**△警告** はしごと屋根の間を乗り移るときは、はしごがずれないように注意してください。

はしごがずれて不安定になり、転倒や転落の恐れがあります。

**△警告** はしごと建物の接点より上の防ざんや支柱に、体重をかけないでください。

はしこの接点底が持ち上がって不安定になり、転倒や転落の恐れがあります。



**△警告** 屋根の上からはしごを移動しないでください。

身体のパランスをくずしたり、接地面が不安定になって、転倒や転落の恐れがあります。

**△警告** 同時に2人以上乗らないでください。

はしこが不安定になり、転倒や転落の恐れがあります。



**△警告** はしごを背にしたり、手放して昇り降りしないでください。

身体が不安定になり、転倒や転落の恐れがあります。



**△警告** はしこの支柱から身体を乗り出さないでください。

身体を乗り出すとパランスをくずして、転倒や転落の恐れがあります。



**△警告** 身体が安定が得られないような荷物を持って、昇り降りしないでください。

パランスをくずして、転倒や転落の恐れがあります。そのような荷物があるときは、真中に背負うなどして、両手両足が使える状態にしてください。

**△警告** はしこの上で壁や物を無理に押したり、引いたりしないでください。

壁などを無理に押したりすると、その反動ではしこが立ち上がったり、ずれたりして、パランスをくずして、転倒や転落の恐れがあります。



**△注意** はしこは慎重に昇り降りし、はしこの途中から、飛び降りたりしないでください。

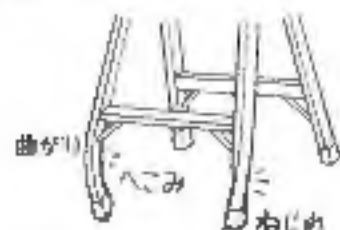
墜落事故の恐れがあります。降りるときは、最下段の踏ざんまで使って慎重に降りてください。

## ご使用前の点検

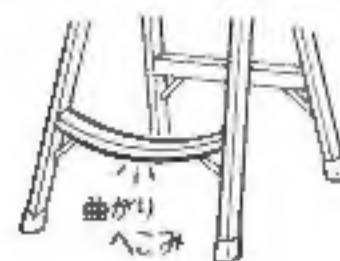
はしご兼用脚立をお使いになる前には、下記の点検を行い、異常のないことを確認してください。  
また、異常に対して処置のできるものは、正しい処置をした後に使用してください。

### 1.目で見て、下記の点検をしてください。

- ① 踏ざんにグリース・油・泥・雪・水・ペンキなど、滑りやすいものが付いていないか確認し、付いている場合はきれいに拭き取ってください。  
(25ページ参照)
- ② 支柱に曲がり・ねじれ・へこみがありませんか。ある場合は、絶対に使わないで廃棄してください。



- ③ 踏ざんに曲がり・へこみがありませんか。ある場合は、絶対に使わないで廃棄してください。



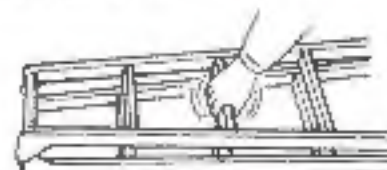
- ④ 各部の接合部に割れやいちじるしい腐食がありませんか。また、取り付け部品の破損・脱落・変形・摩耗・いちじるしい腐食がありませんか。ある場合は、絶対に使わないで廃棄してください。

- ⑤ リベット・ねじ・ピンなどのゆるみや抜け落ちがありませんか。ある場合は、絶対に使わないで廃棄してください。

- ⑥ 滑り止めキャップ(支柱端具)が外れたり、すり減ったりしていませんか。外れたり、すり減ったりしている場合は、絶対に使わないでください。必ず弊社までご相談いただき、新しい滑り止めキャップ(支柱端具)と交換してください。

### 2.下記の箇所を触って点検をしてください。

- ⑦ 各段の踏ざんをねじってみて、ガタツキがないか点検してください。ガタツキがある場合は、絶対に使わないで廃棄してください。



### 3.支柱を開閉して、下記の点検をしてください。

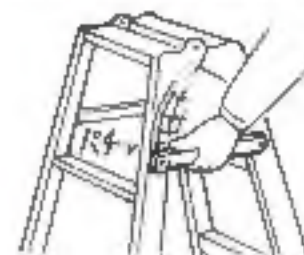
- ⑧ スムーズに開閉できますか。  
スムーズに開閉できないときは、左右のヒンジ(回転金具)に泥やセメント・ごみの噛み込みがないか点検し、あれば取り除いてください。



- ⑨ 左右のヒンジ(回転金具)のゆるみやガタツキがありませんか。  
ガタツキがある場合は、ヒンジ(回転金具)のゆるみや外れが考えられますので、絶対に使わないで廃棄してください。



- ⑩ 左右の開き止め金具は、ロック受けピンに確実にロックできますか。  
確実にロックできない場合は、絶対に使わないで廃棄してください。



- ⑪ 支柱をいっぱいまで開き、左右の開き止め金具は、ロック受けピンに確実にロックできますか。  
確実にロックできない場合は、絶対に使わないで廃棄してください。



## 設置場所について

### 1. 脚立状態で使うとき

- 平坦で安定した場所、滑りにくい場所、また脚立が倒れない場所を選んで設置してください。
- 雨や水のかからない場所、強い風を受けない場所に設置してください。
- 脚立の周囲に危険な物がなく、バランスの良い作業姿勢で使える位置に設置してください。
- 設置後は脚立にガタツキがないか確認し、ある場合は脚立の位置を移動してガタツキなどを取り除いてください。



### 2. はしご状態で使うとき

- ガタツキがない安定した場所、滑りにくい場所、またははしごが倒れない場所を選んで設置してください。
- 雨や水のかからない場所、強い風を受けない場所に設置してください。
- はしごの周囲に危険な物がなく、バランスの良い姿勢で使える位置に設置してください。
- はしごの接点の使用質量に十分耐えられ、横すべりやガタツキがないことを確認して、ある場合は、はしごの位置を移動してガタツキなどを取り除いてください。



## 脚立状態での使いかた

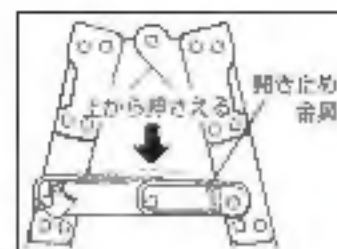
### 1. 脚立にするとときとたたみかた

#### <脚立にするととき>

- ① はしご兼用脚立の踏ざんを両手で持ち、片方の支柱をほぼ垂直に立ててください。
  - ② もう一方の支柱を、右図のように開いてください。
- ※ はしご状態から脚立にする場合は、左右の開き止め金具を、下図のように掛けてください。



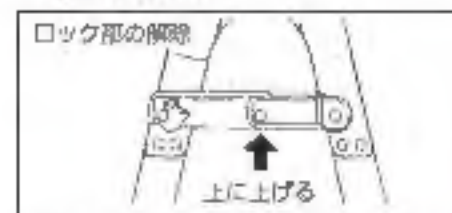
- ③ 標準タイプは、左右の開き止め金具を右図のように、↓位置で上から押さえて、開き止め金具を確実にセットしてください。



#### <たたみかた>

##### 【標準タイプ】

- ① 左右の開き止め金具を下図のように、↑位置で上にあけて、金具を「へ」の字にしてください。



- ② 両手で踏ざんを上図のように持ち、慎重に折りたたんでください。

##### 【一体式タイプ】

- ① 左右のロック部を解除し、開き止め金具を外してください。



- ② 両手で踏ざんを上図のように持ち、慎重に折りたたんでください。

#### ⚠ 警告



開閉は、慎重にゆっくり行ってください。乱暴にしますと可動部や回転部などで手をはさんだり、変形や破損の原因になります。

## 2. 脚立の昇りかた・降りかた・作業のしかた

- 昇る前に、必ず左右の開き止め金具が確実にロックされていることを確認してください。
- 運動靴など、滑りにくいはき物をはいてください。
- 身体の前向きを脚立の昇降面に向け、両手・両足を使って、慎重に昇り降りしてください。
- 荷物があるときは、背中に背負うなどして、両手を使えるようにしてください。
- 脚立の上で作業するときは、「ここにのること禁止」のラベルの貼っていない踏ざんに立ち、天板や踏ざんに身体を当て、安定させた状態で作業してください。
- 脚立の上で作業するときは、脚立の支柱から身体を乗り出さないでください。
- 降りるときは、飛び降りずに1段ずつ踏ざんに足を掛け、最下段の踏ざんまで使って慎重に降りてください。
- 踏ざんに乗るときは、図のように足を掛けてください。
- 脚立を移動するときは、脚立から地上に降りて移動してください。

※使用最大高さ 乗ることができる最大の高さ



## はしご状態での使いかた

### 1. はしごにするとときとたたみかた

<はしごにするとき>

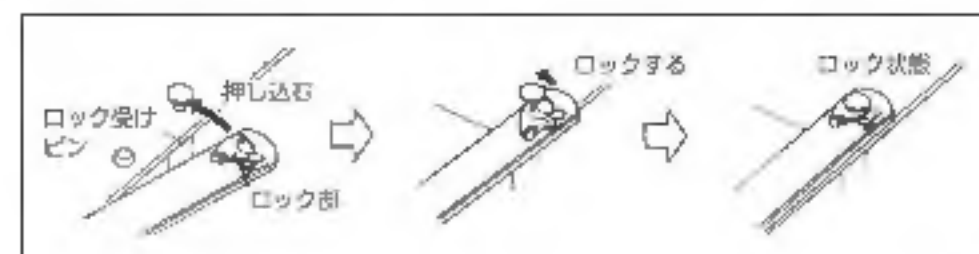
- ① はしご兼用脚立を折りたたんだ状態のまま、床面に寝かせて置いてください。
- ② 上側の踏ざんを持って、いっぱいまで開いてください。



- ③ はしご兼用脚立を横向きに起こし、左右の開き止め金具をロック受けピンにロック部で確実にロックしてください。

### ⚠ 注意

はしご兼用脚立を横向きに起こしたとき、上から力を加えないでください。製品が変形する恐れがあります。



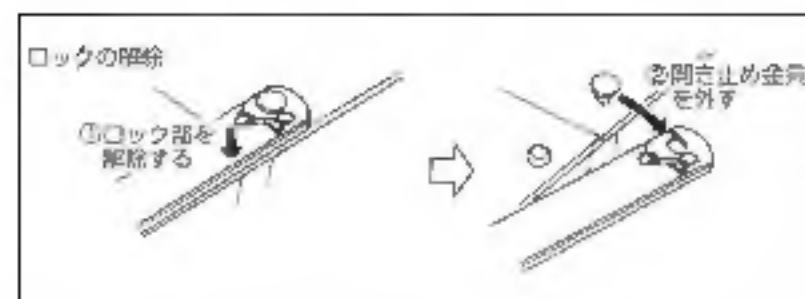
## はしご状態での使いかた

### <たたみかた>

- はしごを横向きに起こし、左右のロック部を解除して、開き止め金具を外してください。

### ⚠ 注意

横向きにしたとき、上から力を加えないでください。製品が変形することがあります。



- 図のように、はしごを折りたたんでください。

### ⚠ 注意

はしごを折りたたむときは、慎重に行ってください。乱暴にしますと、変形や破損の原因になります。

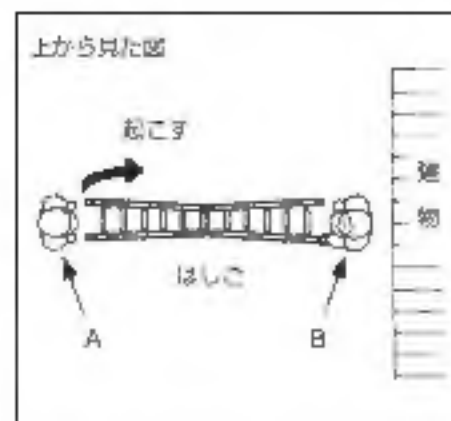


## 3. はしごの起こしかた・倒しかた

作業は2人で行ってください。

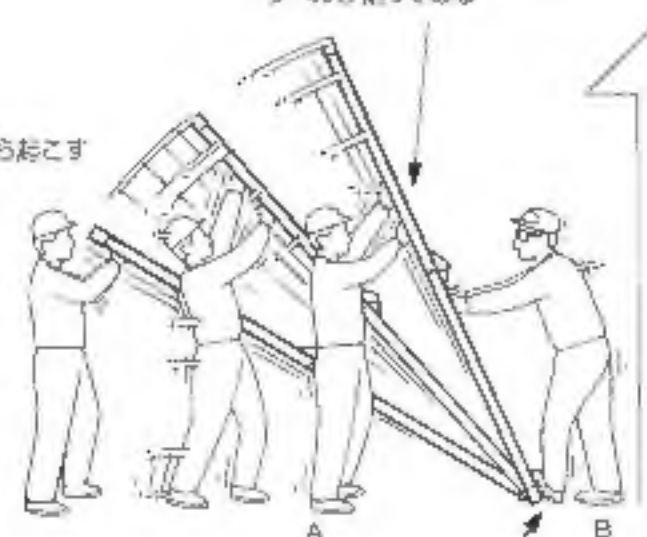
### <起こしかた>

- ① 昇る建物に対して、はしごと2人の作業者は右図の位置になります。
- ② 建物の人(B)は、はしごが動かないように滑り止めキャップ(支柱端具)部分を足で押さえ、もう一方の人(A)が踏ざんを持ちかえながら、ほぼ垂直まで起こしてください。



こちら側が、はしごの裏面です。  
※「この面は裏面です 使用禁止」のラベルが貼ってある

踏ざんを持ちかえながら起こす



### <倒しかた>

- 2人の作業者が向かい合って立ち、建物の人(B)が滑り止めキャップ(支柱端具)部分を足で押さえてください。
- もう一方の人(A)が、はしごの踏ざんを持ちかえながら倒してください。

滑り止めキャップ(支柱端具)部分を足で押さえる

### 3. はしごの立て掛けかた

はしごの立て掛けは、2人で行ってください。

● はしごの表面が使えるように立て掛けてください。

※裏面には「この面は裏面です 使用禁止」のラベルが貼ってあります。

① はしごの立て掛け角度を約75度に調整します。

※75度の目安は、支柱に貼ってある「75度指示ライン」を、水平な地面(床)と垂直な線と平行になるようにしてください。



② はしごを正面から見、まっすぐ(水平な地面に90度)に立て掛けてください。

③ 屋根などに立て掛ける場合は、はしごと建物との接点が、最上段と2段目の踏ざんの間が理想的です。

※上記以上に、はしごが接点から突き出てしまうときは、補助者が特に注意してはしごを押さえてください。また、はしご上の使用者は、接点より上の踏ざんや支柱に体重を掛けないでください。



### 4. はしごの昇りかた・降りかた

● 昇る前に、必ず左右の開き止め金具が確實にロックされていることを確認してください。

● はしごは、表面と裏面があります。昇る前に表面であることを確認してください。裏面には、「この面は裏面です 使用禁止」のラベルが貼ってあります。

● 運動靴など、滑りにくいはき物をはいてください。

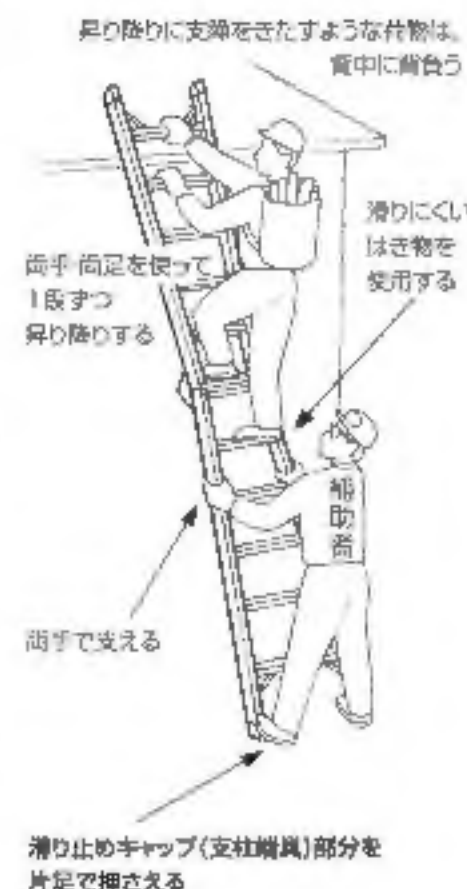
● 身体の前部をはしごに向け、両手・両足を使って、慎重に昇り降りしてください。

● 昇り降りに支障をきたすような荷物があるときは、背中に背負うなどして、両手を使えるようにし、身体のバランスに注意しながら昇り降りしてください。

● はしごから屋根、屋根からはしごに乗り移るときは、はしごが不安定になります。補助者がはしごをしっかり支えて、安定させてください。

● はしごを使って降りるときは、1段ずつ踏ざんに足を掛け、最下段の踏ざんまで使って慎重に降りてください。

● 昇り降りするときは、補助者が滑り止めキャップ(支柱端具)部分を片足で押さえて、両手でしっかり支えてください。



## 使用後のお手入れと保管のしかた

### 1. お手入れのしかた

はしと兼用脚立にとって泥・汚水・セメント・石灰・毒水は天敵です。いつもきれいにしておいてください。

#### ＜掃除のしかた＞

- 汚れは、濡れぞうきんなどできれいに拭き取ってください。
- 汚れがいちじるしい場合は、水洗いした後、乾いた布で拭いてください。
- 油系の汚れはクリーナーや洗剤で落とした後、クリーナーや洗剤が残らないように、きれいに拭き取ってください。

#### △ 注意

クリーナーや洗剤を付けたままにしていると腐食の原因になります。

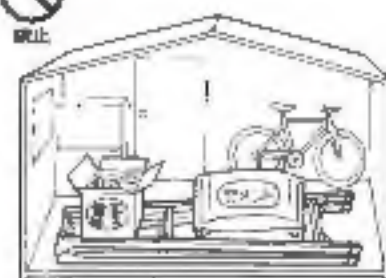
### 2. 保管のしかた

- 雨や直射日光の当たらない、風通しの良い乾燥した場所を選んで保管してください。雨や直射日光が当たると、各部の腐食や劣化により、強度低下の原因になります。

- 本製品が濡れてるときは、十分に乾燥させてから保管してください。

#### △ 注意

- 同じ場所に保管されますと、床材等の材質によっては支柱端部の接地部分に色移りする場合がありますので注意してください。
- 保管中は、本製品の上に物を置かないでください。変形の原因になります。
- 農薬やセメント・石灰の近くに本製品を置きますと、化学反応を起こして腐食の原因になりますので、絶対に置かないでください。



## 「故障かな？」と思ったら(不調診断)

〈現象〉・使ったときに、グラグラする。

点検する箇所	処置のしかた
支柱と腳さんの接合部に、ゆるみやガタツキがありませんか。	ある場合は、使わないで廃棄してください。
支柱とピンジ(回転金具)の接合部に、ゆるみやガタツキがありませんか。	ある場合は、使わないで廃棄してください。

〈現象〉・開き止め金具が確実にロックできない。  
\* 脚立がスムーズに開閉できない。

点検する箇所	処置のしかた
開き止め金具に、変形がありませんか。	ある場合は、使わないで廃棄してください。
ロック部の機能がそこなわれるような変形や変形、サビ付きがありませんか。	ある場合は、使わないで廃棄してください。
ロック受けピンに腐蝕や変形、脱落がありませんか。	ある場合は、使わないで廃棄してください。
支柱とピンジ(回転金具)に変形がありませんか。	ある場合は、使わないで廃棄してください。
ピンジ(回転金具)がサビ付いていませんか。	サビ付いている場合は、回転部に注油してください。 機能がそこなわれるようないちじるしいサビ付きがある場合は、使わないで廃棄してください。

〈現象〉・設置面が水平であるのに、ガタガタする。

点検する箇所	処置のしかた
脚元や先端が曲がっていませんか。	曲がっている場合は、使わないで廃棄してください。
滑り止めキャップ(支柱端部)が、外れたり、すり減ったりしていませんか。	外れたり、すり減ったりしている場合は、使わないでください。(弊社までご相談ください。)